



第2回 堀切菖蒲園駅周辺地区 まちづくり検討会

令和7年11月8日（土）堀切地区センター ホール

主催：葛飾区 都市計画課 地域街づくり担当係

本日の内容

1. 今年度の検討内容、検討スケジュール（おさらい）
2. まちづくりに関するご意見等
3. まちづくり計画（たたき台）
4. 意見交換
5. 今後の予定

1 今年度の検討内容、 検討スケジュール（おさらい）

これまでの検討経緯と今年度の目標

平成18年度 「堀切地区まちづくり検討協議会（現 堀切地区まちづくり推進協議会）」発足

平成22年度 「堀切地区まちづくり構想」を葛飾区へ提案

平成24年11月 「堀切二丁目周辺地区防災まちづくり整備構想」を葛飾区に提案

堀切二丁目周辺・四丁目地区にて、まちづくりの取組が進む

- ・平成26年 4月 都の「不燃化特区」に指定
- ・平成27年 4月 「密集事業」の導入
- ・平成28年 3月 「防災街区整備地区計画」決定

平成29年 8月 駅周辺の取組をまとめた「堀切地区まちづくり戦略(案)」作成

令和4年3月 駅周辺まちづくりの方向性を示す「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想」を区へ提出

令和4年度 駅周辺地区の現況調査（葛飾区）

令和5年度 駅周辺地区 権利者アンケート調査（葛飾区）

令和6年度 駅周辺地区勉強会開催、まちづくり方針（案）作成

令和7年度 駅周辺地区検討会開催、まちづくり計画（案）作成

■ 駅周辺に
関する取組

協議会
での取組

今年度
目 標

駅周辺地区
での取組

これまでの検討経緯と今年度の目標

■堀切二丁目・四丁目地区

- ・本地区では「**防災性の向上**」が課題として挙げられており、平成27年4月から**密集事業（※密集住宅市街地整備促進事業）**を導入し、地区の防災性を高めている。

○「密集事業」の目標

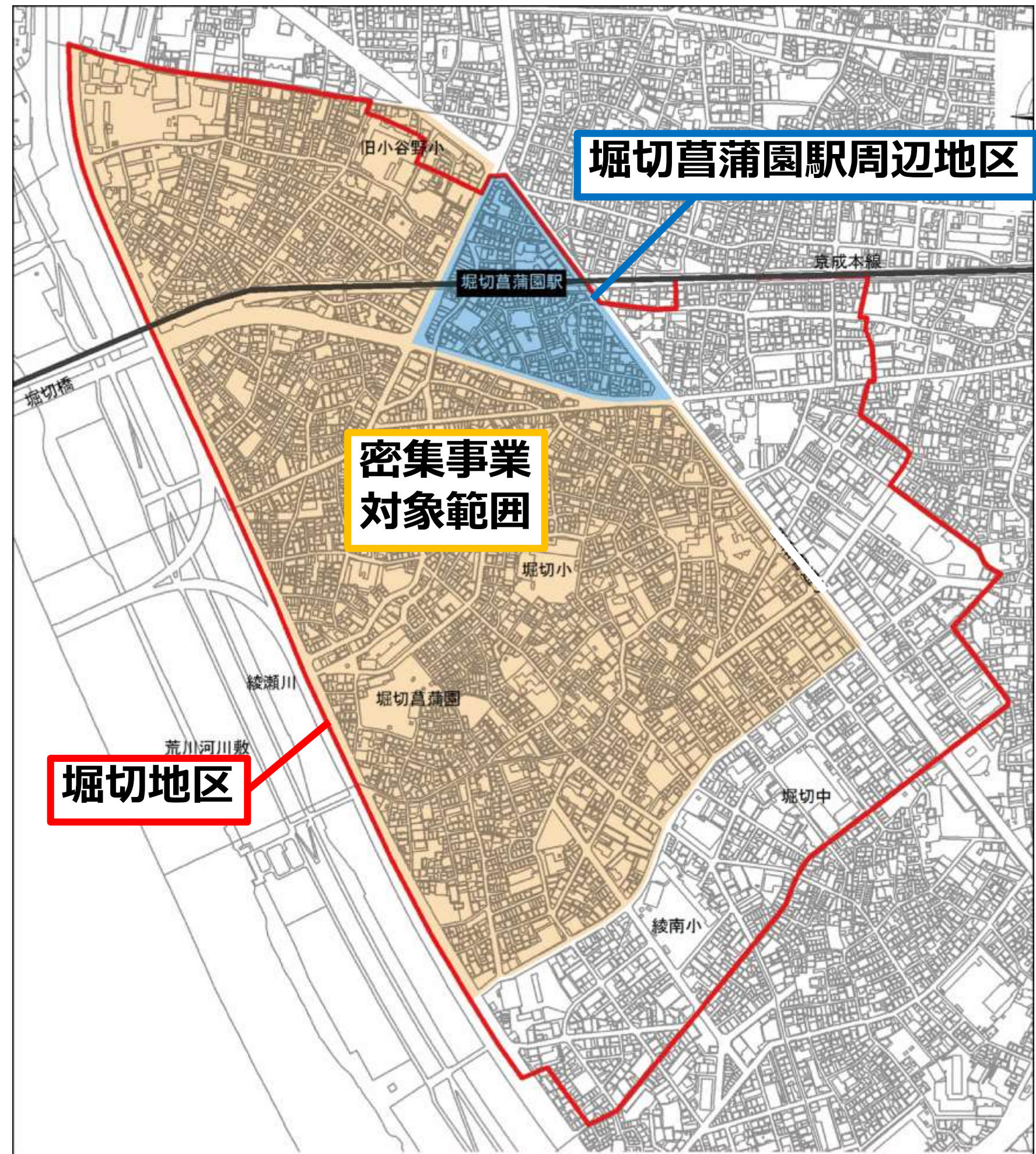
- ①燃えにくい建物を増やす
- ②消防活動困難区域※を解消する

※消防活動困難区域：幅員6mの道路から半径140mより遠く、消防活動が行いにくい区域

- ③公園・広場を確保する



密集事業の3つの取組¹により、
目標を実現



まちづくり計画の目的・対象区域

■計画の目的

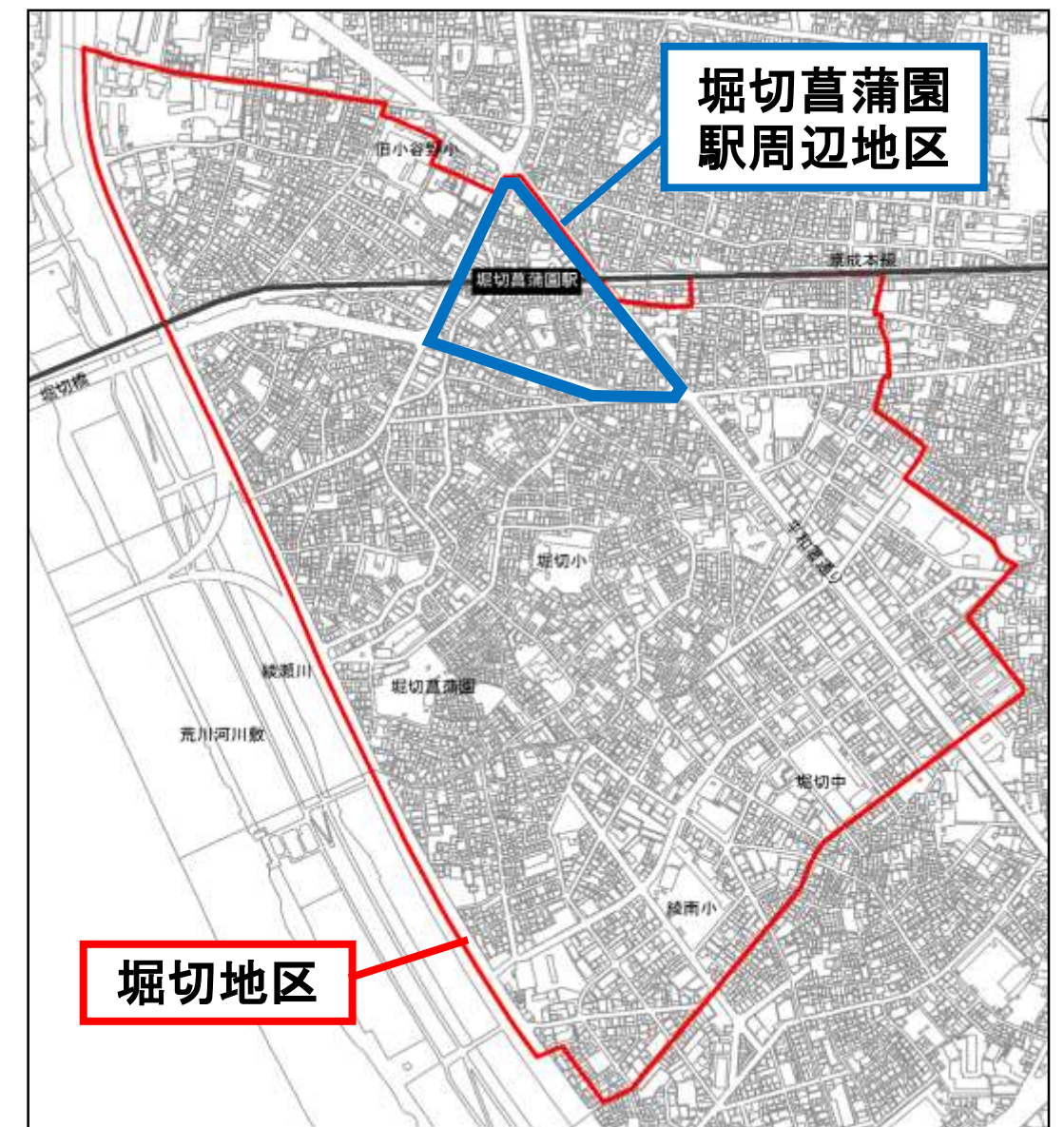
令和4年3月に、まちづくり推進協議会より「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想」が提案されました。

葛飾区では、提案された地区の将来像「誰もが、堀切の魅力を楽しみ、住み続けられるまちづくり」の実現に向けて、取組手法等を示した「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり計画（たたき台）」を作成しました。

本計画に基づき、地域にお住まいの方や土地・建物等の権利者の皆様のご理解を頂きながら、まちづくりを推進します。

■計画の対象区域

堀切菖蒲園駅周辺地区を基本とする



検討スケジュール

令和7年

6月28日

第1回 検討会

・まちづくり方針（案）について意見交換

7～8月

駅周辺地区 権利者アンケート①

本日

第2回 検討会（本日）

・まちづくり計画（たたき台）について
意見交換

12月頃

駅周辺地区 権利者アンケート②

今年度目標

まちづくり計画（案）の作成

R8年度
以降

説明会の開催など

別途、勉強会、
視察会を実施

- 第1回勉強会
（9月27日）
- まちづくり
事例視察会
（10月25日）

2 まちづくりに関するご意見等

堀切菖蒲園駅周辺地区の現状と課題

安全・安心なまちに向けた防災性の向上（現状・課題）

■ 堀切菖蒲園駅周辺地区

〈狭い道路〉

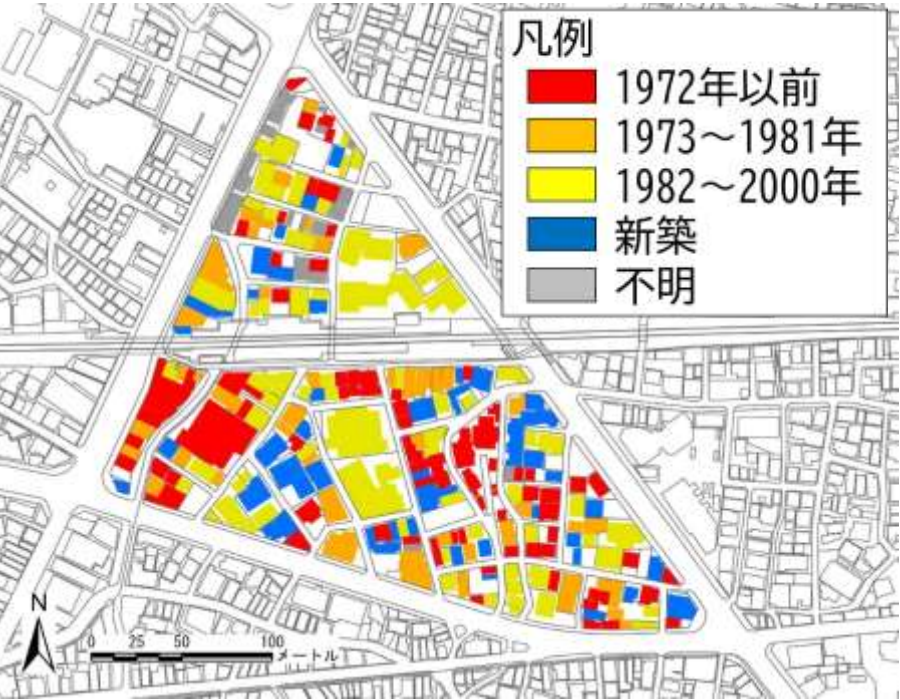
- ・ 地区内の約90%が幅員4m未満の道路

〈建築物の老朽化〉

- ・ 老朽化した建築物が多く存在

〈燃えやすい建築物〉

- ・ 一部に耐火性が不十分な木造家屋が密集した街区の存在

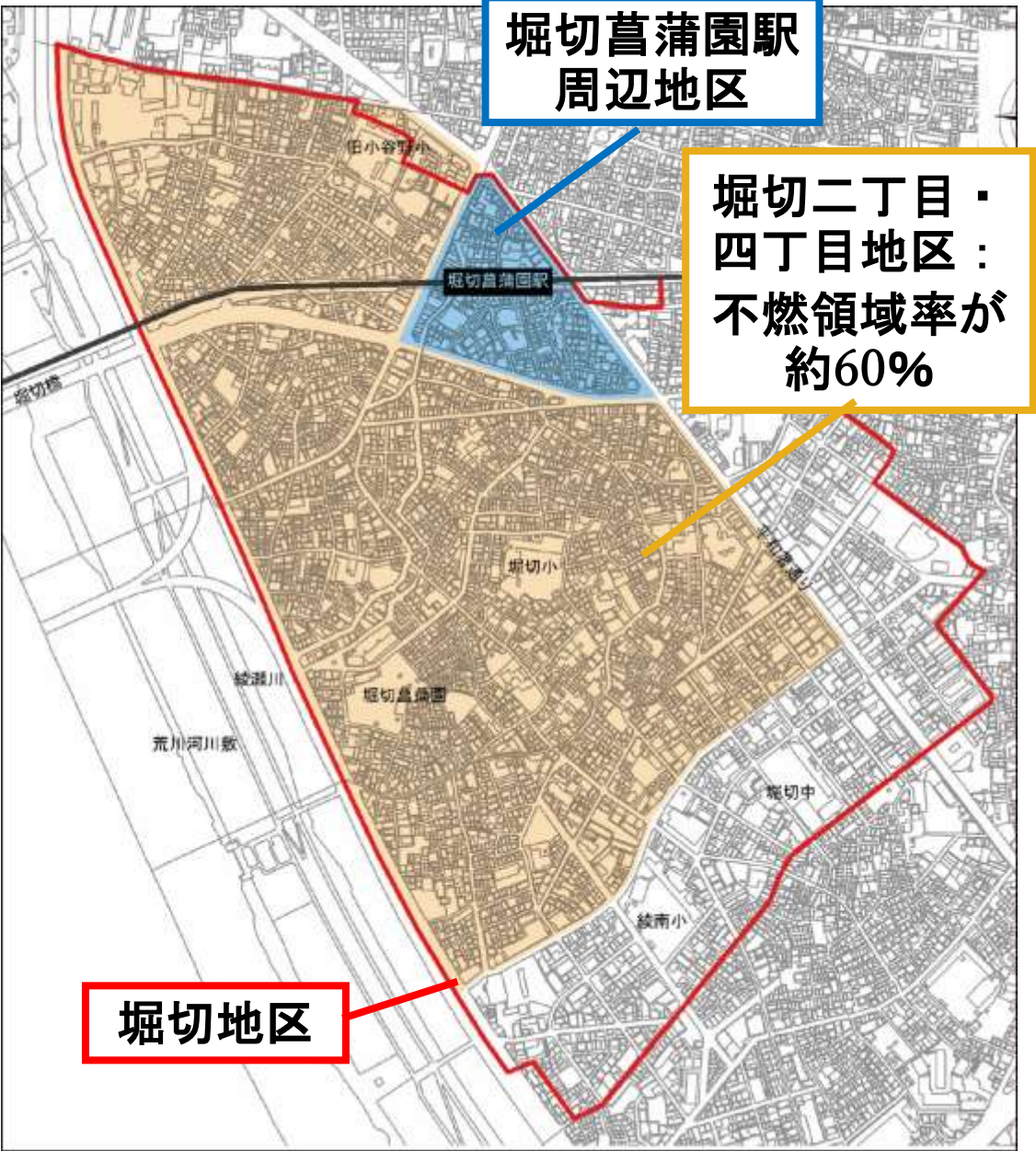


〈建築物の老朽化〉

※不燃領域率…市街地の燃えにくさを示す指標で、建築物の不燃化や道路、公園など空地の状況から算出。70%を超えると延焼による焼失率はほぼゼロとなる。

■ 堀切地区全体

- ・ 堀切二丁目・四丁目の不燃領域率※は約60%
- ・ 老朽化した木造住宅が密集、建替え困難地区の存在
- ・ 消防活動困難区域の存在



堀切菖蒲園駅周辺地区の現状と課題

賑わい・歩いて楽しめる環境の向上 (R6勉強会・アンケート等での意見)

- ・ 歩行環境の改善や歩きたくなる環境整備
- ・ 店の充実、駅周辺の商店街のつながりの回復による賑わいの向上
- ・ 観光拠点や老若男女が楽しめる地域活動の場となる施設整備
- ・ タクシー乗り場の利便性向上
- ・ 避難場所等としての空地等の活用



〈賑わいのある駅前の商店街〉

堀切らしさを感じられるまちの魅力の向上 (R6勉強会・アンケート等での意見)

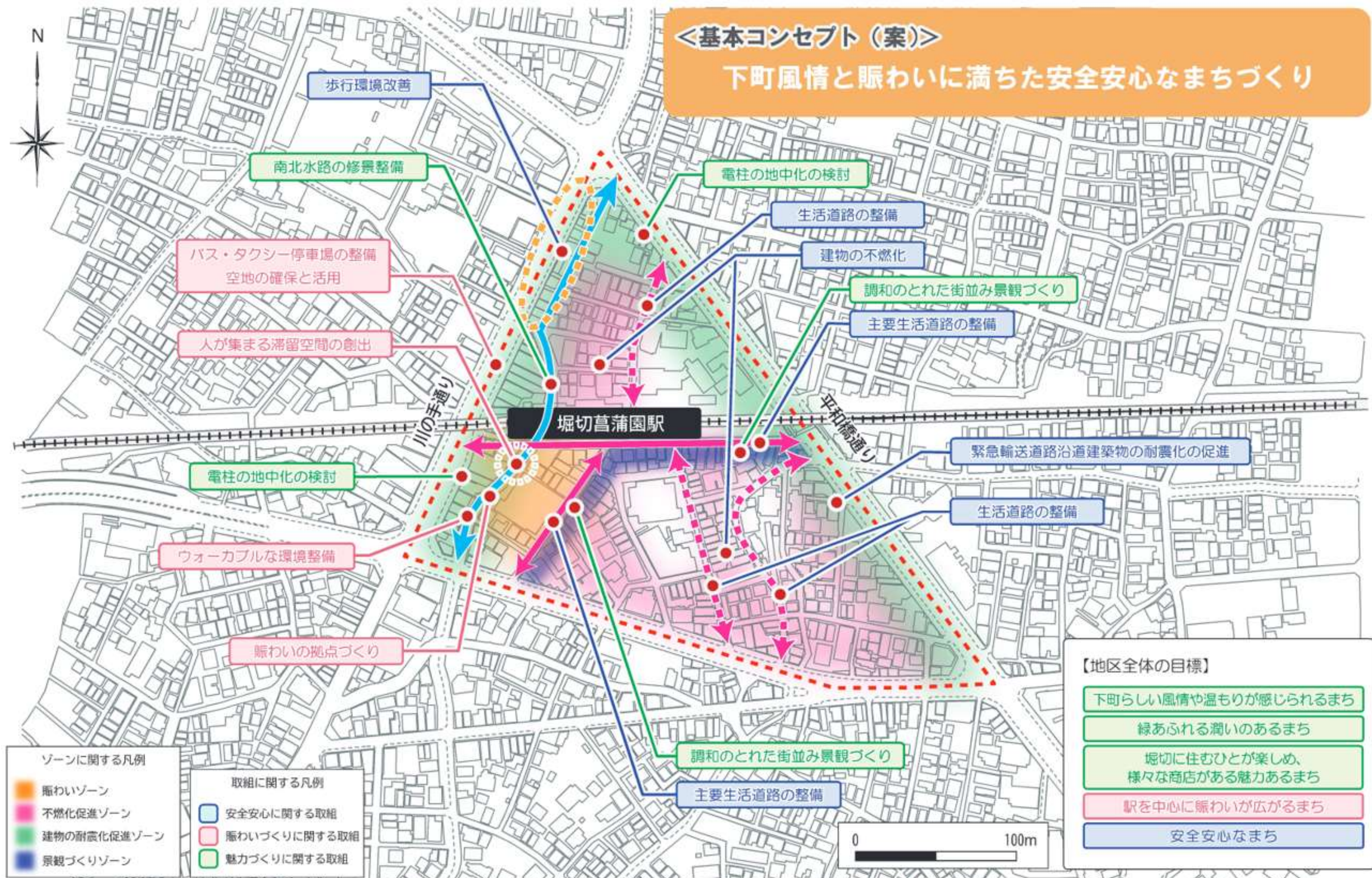
- ・ 堀切菖蒲園らしさや個性を生かしたまちづくり
- ・ 下町風情を感じる雰囲気を残しつつ、駅前の統一感のあるまちなみと住みやすい魅力のある街
- ・ 花や緑を感じられる、ゆとりや癒しとなる清潔感・美観を備えた憩いの空間の形成
- ・ 水路が汚く不衛生なため、水の流れを感じられる修景整備
- ・ 電線類の地中化の推進



〈清潔感のある水路の修景整備〉

堀切菖蒲園駅周辺地区まちづくり方針（案）

（令和7年3月）



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を使用して作成したものである。

（承認番号） 6 都市基交測第 124 号、令和 6 年 9 月 3 日
（承認番号） MMT 利許第 06-122 号、令和 6 年 9 月 4 日

第1回検討会でのご意見（令和7年6月28日）

○第1回検討会で挙げられた主な取組

地区全体の課題

- ① 安全に避難でき、緊急車両が通れる道路幅員（4m以上）を確保
- ② 建替えルールや費用の支援による燃えにくい建物への建替え促進
- ③ 駅周辺の吸い殻の掃除など、まちの美化の推進
- ④ 商店街や事業者など、多くの方の参画によるまちづくりの検討

賑わいゾーンの課題

- ⑤ 歩行者中心で、人々の憩いの空間がある道路
- ⑥ 駅周辺での地域活動やイベント等に活用できる広場の設置

景観づくりゾーンの課題

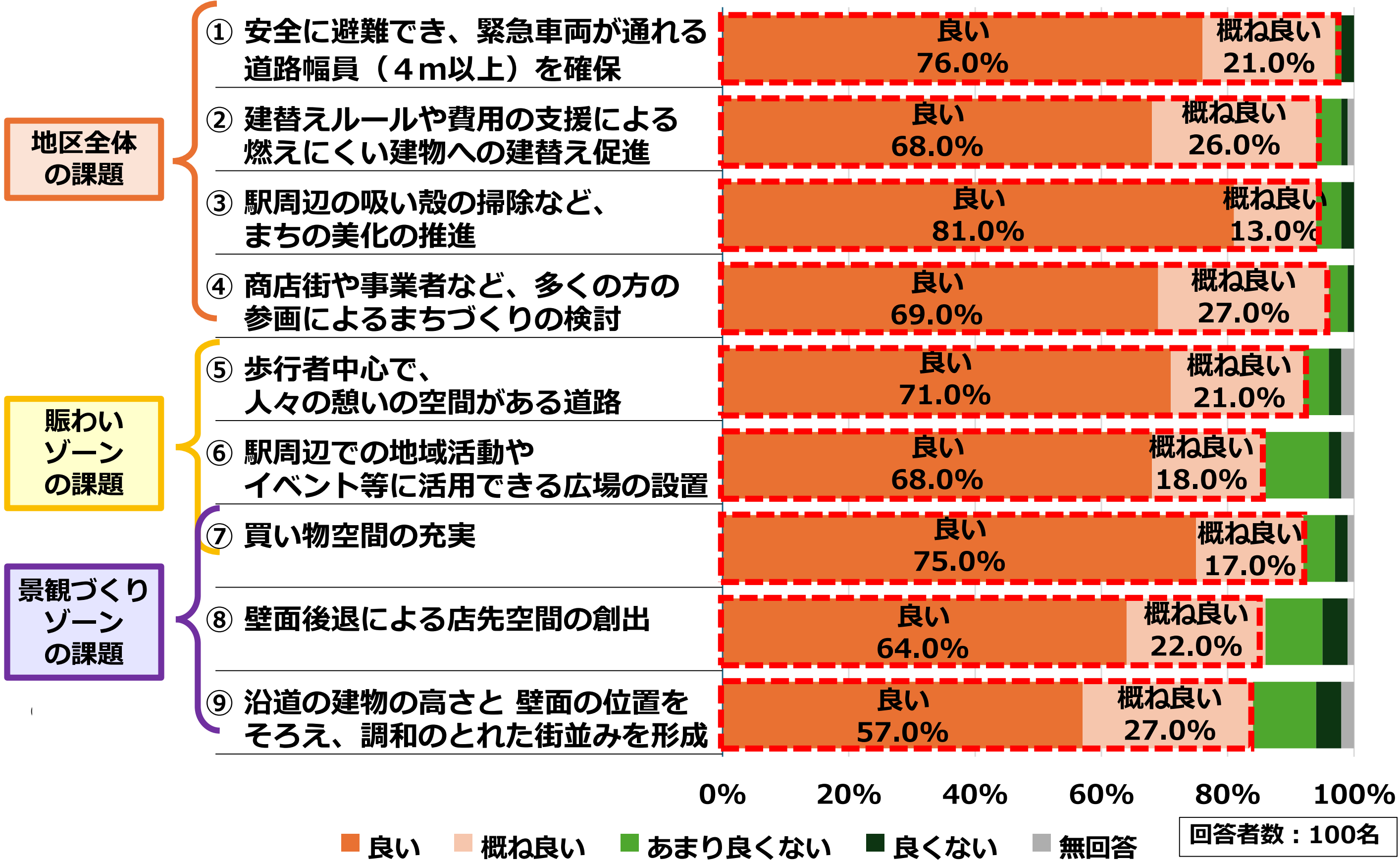
- ⑦ 買い物空間の充実
- ⑧ 壁面後退による店先空間の創出
- ⑨ 沿道の建物の高さや壁面の位置をそろえ、調和のとれた街並みを形成

⇒アンケートを実施し、特に重視する取組とエリアを抽出

第1回アンケート調査でのご意見（令和7年7～8月実施）

設問：①～⑨の各取組について、どのように思うか。

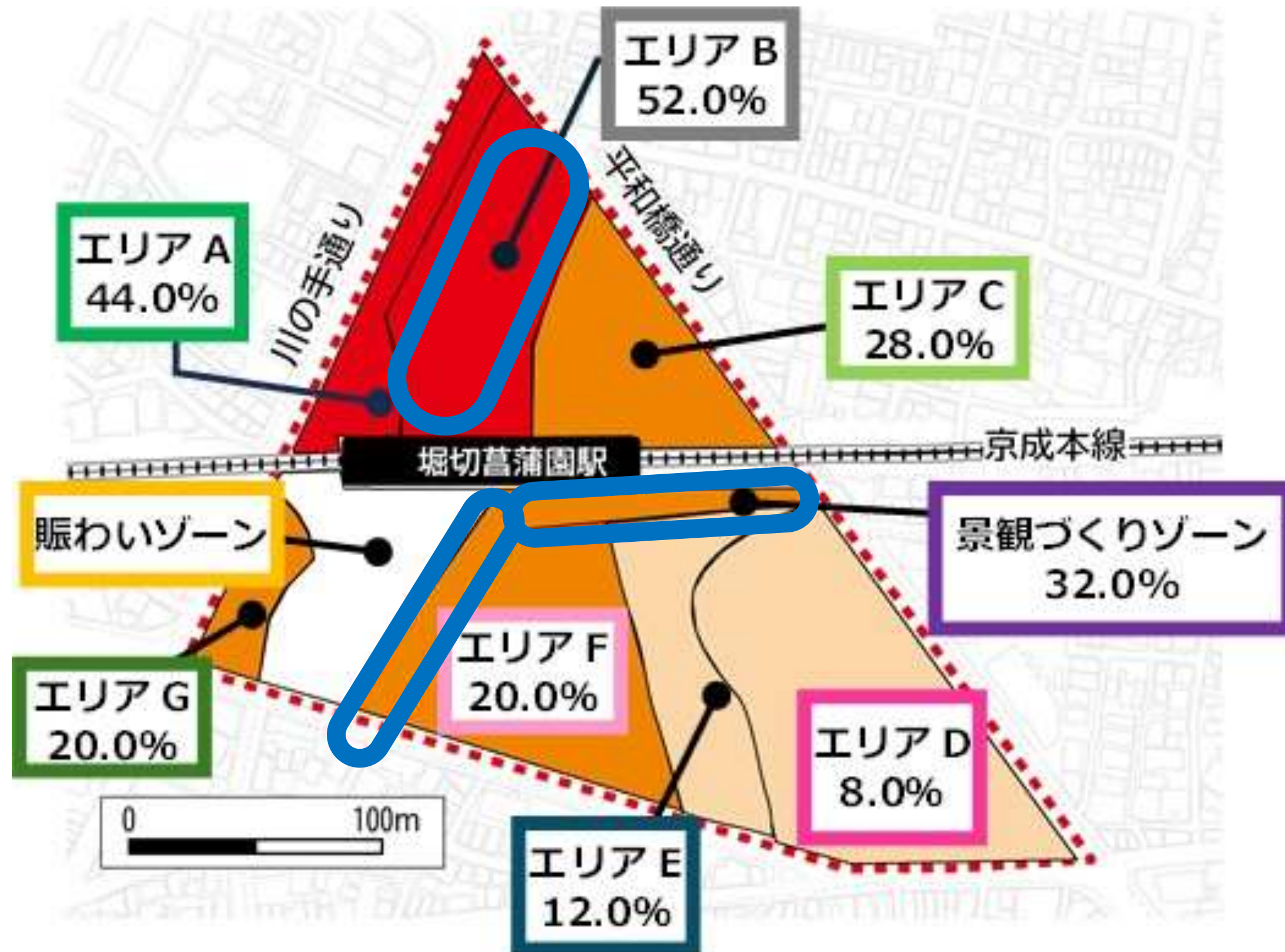
全ての取組で「良い」「概ね良い」の合計が8割を超えていた



第1回アンケート調査でのご意見（令和7年7～8月実施）

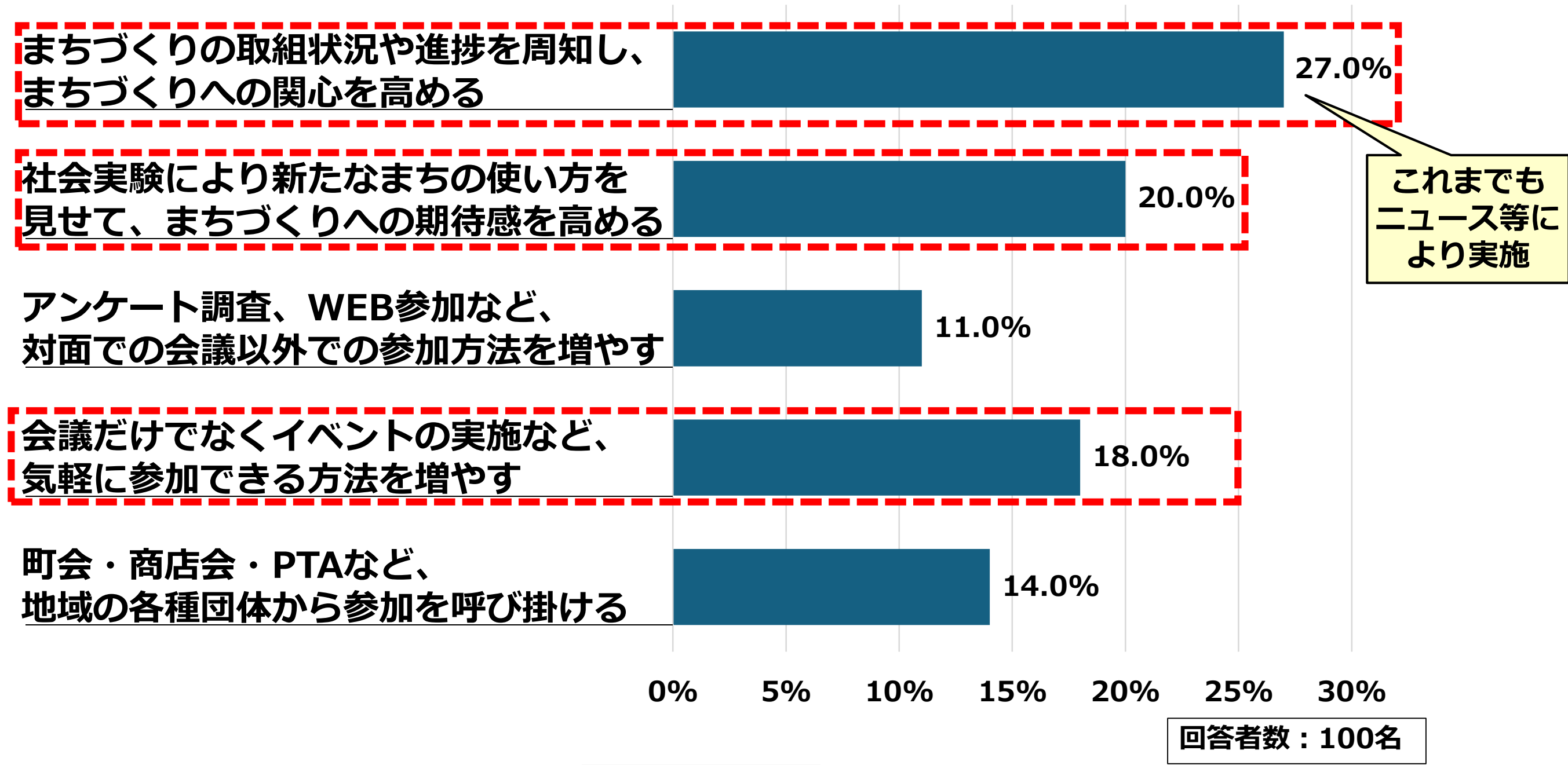
設問：⑤歩行者中心で、人々の憩いの空間がある道路

⇒賑わいゾーン以外だと、**駅北側ではエリアB、駅南側では
景観づくりゾーン**で、ゆとりのある道路が望まれている。



第1回アンケート調査でのご意見（令和7年7～8月実施）

設問：多くの方の参画によるまちづくりを進めるのに効果的なことは。



「社会実験により新たなまちの使い方を見せる」
「イベントなど、気軽に参加できる方法を増やす」など、
これまでとは異なるアプローチが効果的との意見

第1回アンケート調査でのご意見（令和7年7～8月実施）

記述回答の概要

■ 歩行者中心の道路空間に関する意見

- ・ 駅につながり、多くの歩行者が行きかう道路には憩いの空間が必要
- ・ 区民が手続きや文化活動を行う人が集まりやすい場所に憩いの場所を創出

■ まちづくりへの参画に関する意見

- ・ まちの住民や事業者が真剣に街を変えたい、作りたいと思うことが重要
- ・ 関係者を取組に巻き込み、自分事にさせることが優先である

■ 景観づくりに関する意見

- ・ 駅前や菖蒲園につながるゾーンは、景観づくりに力を入れるべき
- ・ 飲食店が多いので、景観づくりを促進することで、より消費を促し活性化できる

■ 店先空間に関する意見

- ・ 駅周囲の道路にゆとりがあった方が良い
- ・ 壁面後退できるほどの広さがなく、ルールを守らない店が多い

■ 道路幅員の確保に関する意見

- ・ 一方通行でない道でも車が相互通行できない
- ・ 今ある道路にある障害物の除去をすることで一定の安全確保につながるのでは

■ 建物の建替えに関する意見

- ・ 古い住宅が密集していて、火災等の時の消火に不安がある
- ・ 狭小地に建っている家はセットバックすると極小住宅になってしまい協力しづらい

第1回勉強会でのご意見（令和7年9月27日）

○第1回勉強会開催概要

- ・ **賑わいゾーン・景観づくりゾーン**の権利者やテナントを対象に開催
- ・ 第1回検討会や第1回アンケート調査でいただいた意見を踏まえ、
「歩いて楽しめる空間や賑わいづくり」を検討テーマとして
意見交換を実施

○第1回勉強会の主なご意見

■長期ビジョンの必要性

- ・ 建替えなど**ハード整備**には時間がかかるからこそ、**長期ビジョン**を持つ
ておくことが大事

■様々な主体のまちづくりへの参画

- ・ 商店街だけでは体力が低下していくため、
色々な街の人が関わって、自然に関わり
が生まれることが大事

■道路の拡幅や建物の建替え

- ・ **道路を拡げることができる場所がど**
こかを見極めて議論する必要あり
- ・ 更新時期に合わせた**計画的な建替え**
が必要

■住宅地の方向性

- ・ ベットタウン化しており、既に**静かなエ**
リアでいたい人が増えているのでは
- ・ **地域外からの人の出入りが少ないが、**
潤いのある店舗は見られる

視察会でのご意見（令和7年10月25日）

○視察会開催概要

- ・本地区のまちづくりの参考になりそうな、以下の2地区の視察を実施（まちづくり推進協議会主催）

■ 目黒区自由が丘南口地区

～調和のとれた商業地の街並み形成や
歩いて楽しめる道路空間づくり～



■ 目黒区原町一丁目7番・8番地区

～駅前での共同建替えと広場の創出、
建替え期間中からの賑わいづくり～



視察会でのご意見（令和7年10月25日）

○視察会参加者の主な感想

■ 共同建替えの可能性

- ・ 防災街区整備事業は**比較的短期間で進められる事業**として参考になった。

■ 地域のつながりづくり

- ・ **仲間づくり、地域の取り込み**が大切だと思う。
- ・ イベントを増やして**近隣同士の交流を深める**ことで、お互いが知り合いになり防災に繋がる。

■ 事業者の力や補助金の活用

- ・ 開発には行政と地域だけではなく、**間を取り持つ企業の存在や、各種助成金の活用**が参考になった。
- ・ 自由が丘のまちづくりをけん引しているのが、株式会社であることに驚かされた。

■ 地域らしさや活気のあるまちづくり

- ・ 堀切は若い人が少なく、魅力のある街にして**若者に来てもらいたい**。
- ・ 堀切の駅周辺も**きれいで活気のある街**になれば良い。
- ・ 講演では「自由が丘らしさ」「西小山の趣」という言葉が多く聞かれ、**堀切らしさや堀切の趣を残しながらまちづくり**ができれば良い。

3 まちづくり計画（たたき台）

将来像と取組方針

○まちづくりに関する主なご意見等

●：検討会でのご意見
★：アンケート調査結果
■：勉強会でのご意見

課題 1：安全・安心なまちに向けた防災性の向上

- **建替えなどハード整備には時間がかかるからこそ、長期ビジョンを持つておくことが大事**
- ★ **古い住宅が密集して、火災等の時の消火に不安がある**
- **近隣同士の交流を深めることで、お互いが知り合いになり防災に繋がる**

課題 2：歩いて楽しめる環境の向上、まちの魅力向上

- ★ **一方通行でない道でも車が相互通行できない、道路が狭く緊急車両が入れない**
- ★ **駅周囲の道路にゆとりがあった方がよい**
- **道路が狭いのに店舗の看板が道路上に設置されている**
- **下町風情のある雰囲気を残しつつ、魅力を高めたい**

課題 3：まちづくりへの参画と持続的な担い手の育成

- **イベントなど、すぐに取り組むことから取り組み、周辺に広がっていくことを期待**
- ★ **関係者を取組に巻き込み、自分事にさせることや仲間づくりが大事**
- **まちづくりに住民・商店会など多くの方々が参画することが必要**

方針 1
ハード・ソフト両面からの防災まちづくり

方針 2
誰もが安全に歩いて
楽しめ、快適に暮らせる環境づくり

方針 3
多様な主体の参加による賑わいと活力ある持続可能なまちづくり

○将来像 **下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくり**

まちづくりの基本的な考え方

○将来像

下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくり

災害に強いまちづくりを着実に進めつつ、堀切菖蒲園駅周辺の町の特性を生かし、下町風情と賑わいに満ちた安全安心なまちづくりを推進するため、**3つの取組方針を設定**する。

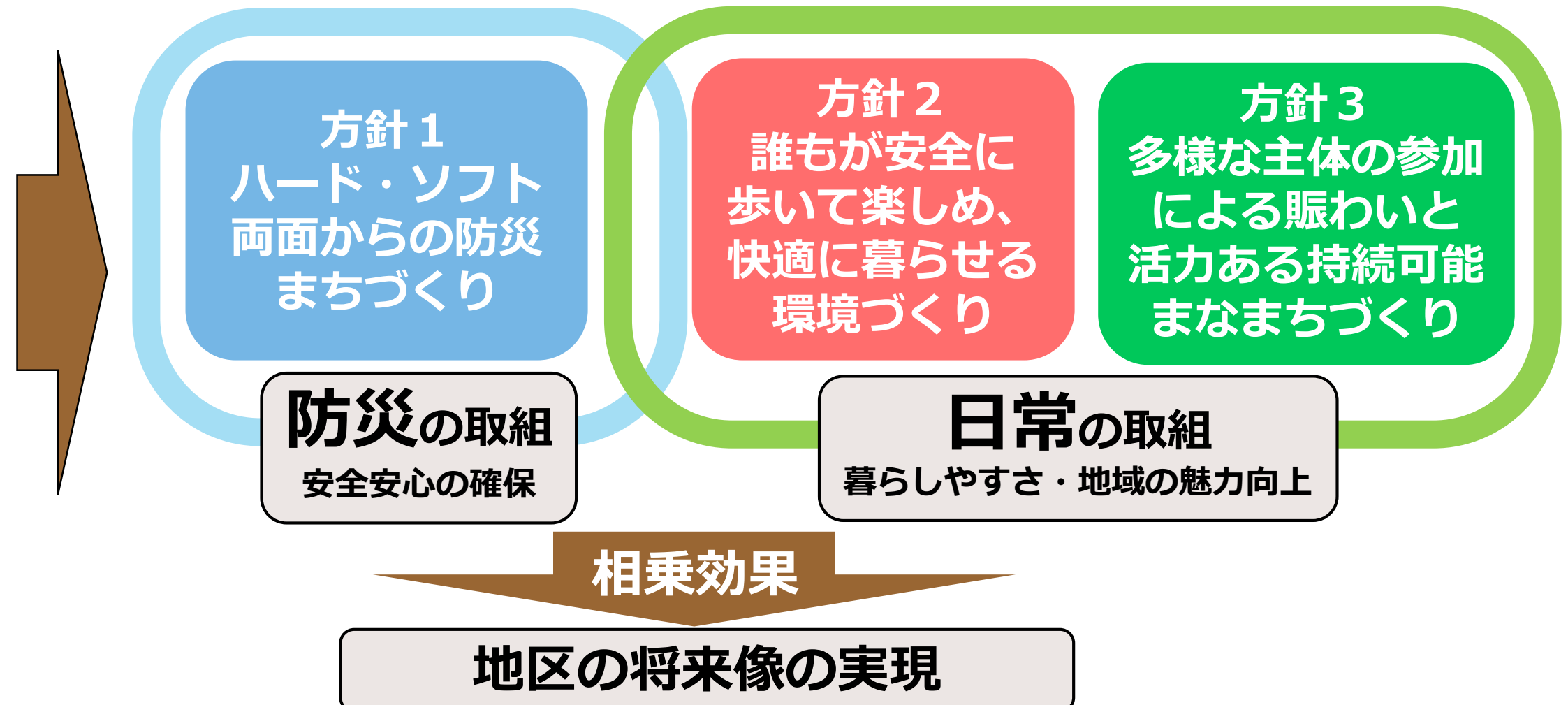
「災害時の安全安心の確保に向けた**防災の取組**」「暮らしやすさや地域の魅力を向上させる**日常の取組**」の**両立**を図りながら、将来像の実現に向けて取り組む。

【課題】

安全・安心なまちに向けた防災性の向上

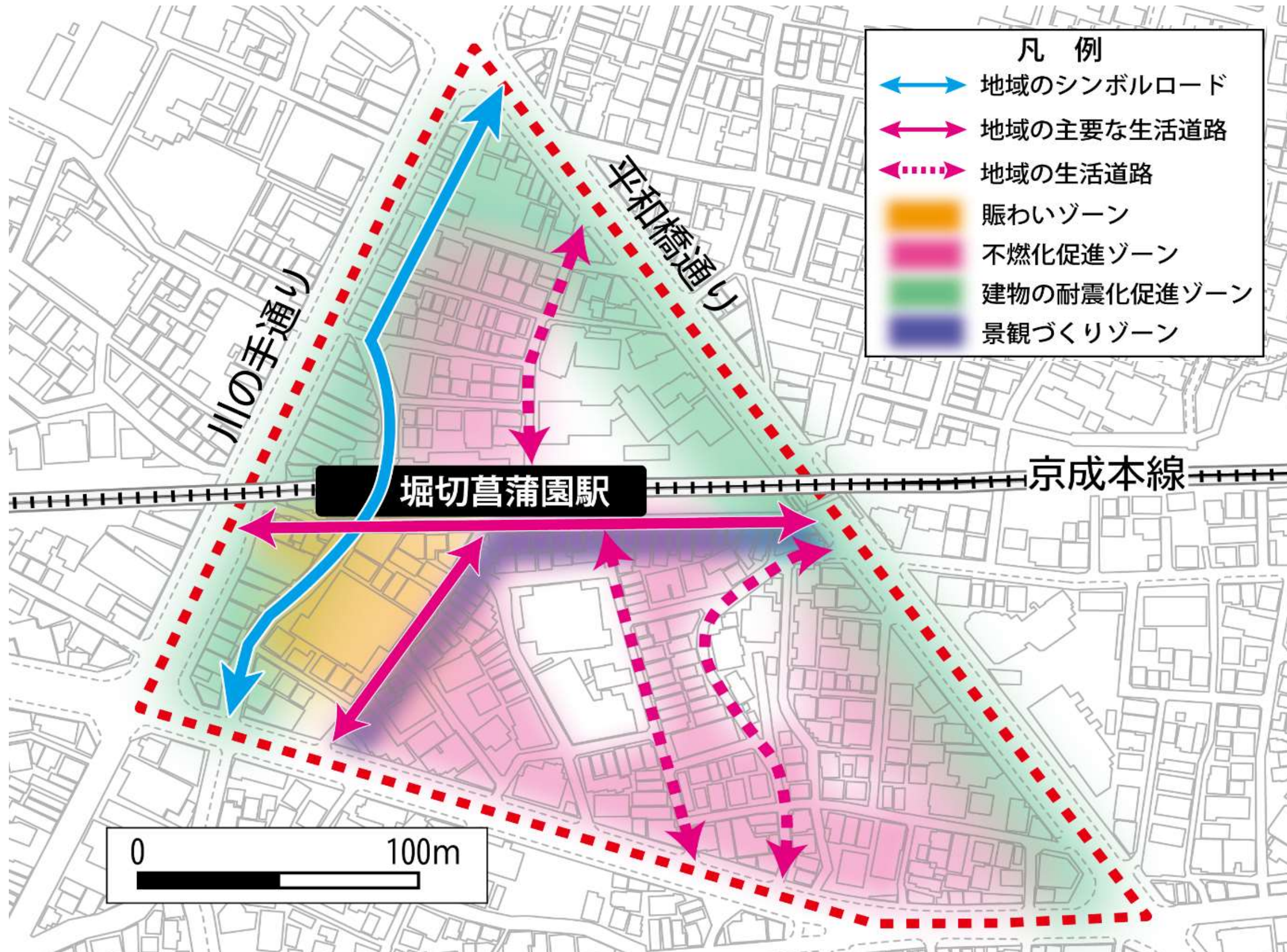
歩いて楽しめる環境の向上、まちの魅力向上

まちづくりへの参画と持続的な担い手の育成



ゾーニング

3つの方針に基づく取組箇所⇒以下のゾーン名、通り名で表示



方針ごとの具体的な取組

方針1 ハード・ソフト両面からの防災まちづくり

燃えない・燃え広がらないまちに向けた建築物の建替えや安全な避難路の確保等とともに、防災活動の支援により災害時の消火や救助活動等の担い手確保につなげるなど、ハード・ソフト両面からの防災まちづくりを進める。

目標

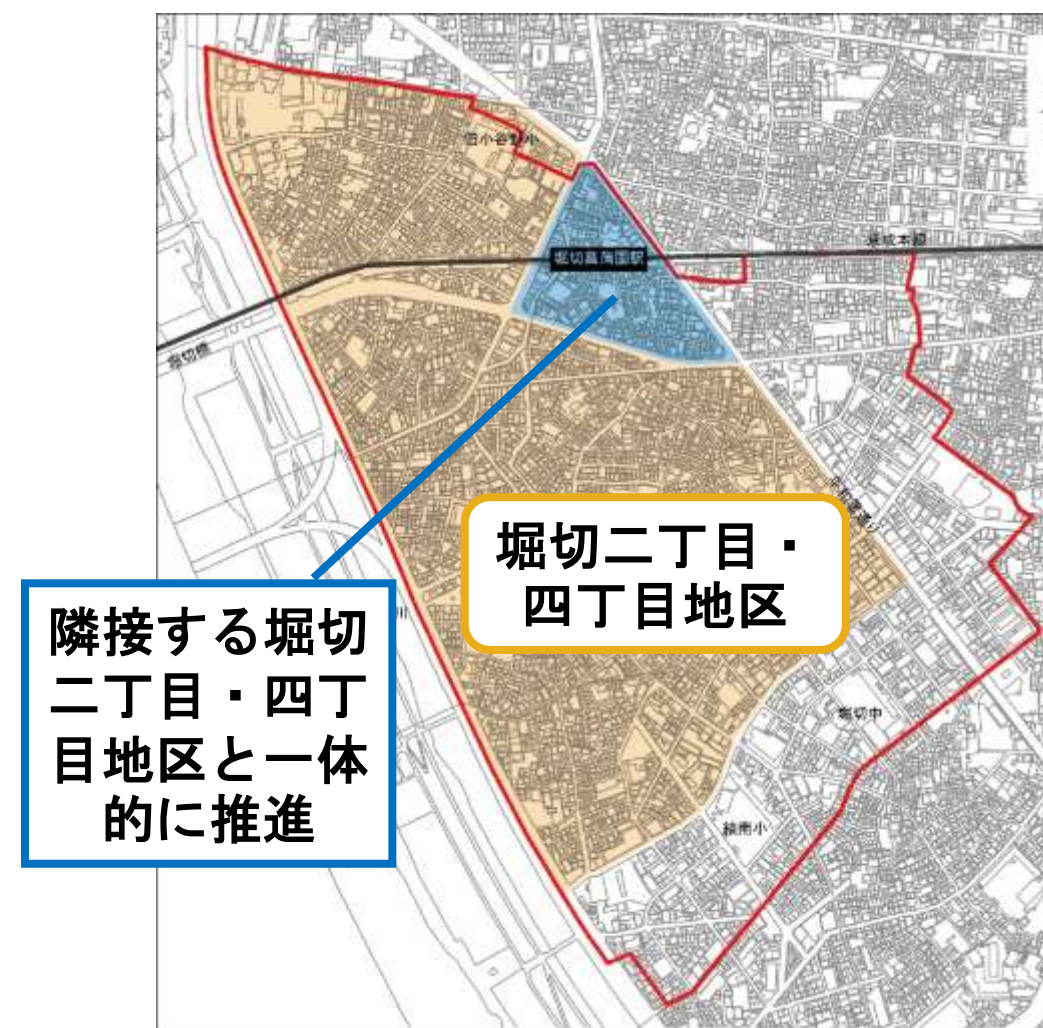
- ・ 建築物の不燃化建替え
- ・ 避難路のネットワーク形成
- ・ 地域コミュニティの醸成

取組

- ・ 取組1－1 防災街区整備地区計画
- ・ 取組1－2 不燃化促進事業
- ・ 取組1－3 共同建替え
- ・ 取組1－4 防災意識の啓発活動

主な効果

- ・ 火災による建物延焼の防止・抑制、密集化による延焼を抑制
- ・ 安全な避難路やオープンスペース
- ・ 災害時の助け合いによる地域防災力の向上



方針ごとの具体的な取組

取組 1 – 1 防災街区整備地区計画

取組箇所：駅周辺地区全域

【課題】

- ・ 燃えやすく、老朽化した建築物が多い
- ・ 狭い道路が多い
- ・ 建物が密集している



【取組】

- ・ 木造住宅の密集地域における避難路の確保や火災による延焼被害の抑制のため、避難路の位置づけや建築物の防火規制、敷地面積の最低限度を規定

【取組イメージ】 個別建替え



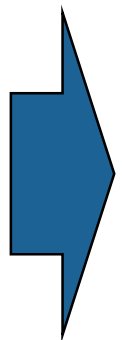
<世田谷区下北沢>

取組 1 – 2 不燃化促進事業

取組箇所：駅周辺地区全域

【課題】

- ・ 燃えやすく、老朽化した建築物が多い
- ・ 狭い道路が多い



【取組】

- ・ 建築物の耐震化・不燃化建替えや老朽建築物の除却への助成、固定資産税等の減免により、不燃化建替えを促進

方針ごとの具体的な取組

取組 1 – 3 共同建替え

取組箇所：賑わいゾーン

【課題】

- ・ 燃えやすく、老朽化した建築物が多い
- ・ 狭い敷地など建替え困難地区の存在
- ・ まとまりのある空地が少ない



【取組】

- ・ 賑わいゾーンでの商業施設と連携した共同建替えにより、防災性の向上や賑わいの拠点づくり、広場空間の創出

【取組イメージ】防災街区整備事業による共同建替えと広場の創出



＜目黒区原町 共同建替えによる建築物＞



＜目黒区原町 共同化により創出された広場＞

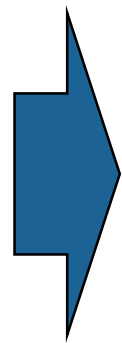
方針ごとの具体的な取組

取組 1－4 防災意識の啓発活動

取組箇所：堀切地区全域

【課題】

- ・ 燃えやすく、老朽化した建築物が多い
- ・ 日頃からの防災意識の向上



【取組】

- ・ 防災意識の向上や地域コミュニティのつながりづくりを兼ねて、地域での防災訓練を実施
- ・ 堀切地区防災マップやハザードマップによる危険箇所の周知、最寄りの避難所の確認等を通じて、日頃からの防災意識を啓発

【取組イメージ】 防災訓練



＜安中市総合防災訓練＞

出典：安中市HP

防災マップによる意識啓発



＜目黒区西小山 にこまるMINE PARK＞

方針ごとの具体的な取組

方針2 誰もが安全に歩いて楽しめ、快適に暮らせる環境づくり

建替えルールを活用した一体的な道路状空間の創出や歩行環境の改善により、駅から安全に楽しめる歩行ネットワークを確保するとともに、不燃化建替えに伴う建築物の省エネルギー化や細街路の拡幅により、快適に暮らせる環境づくりを進める。

目標

- ・ 道路状空間の確保
- ・ 平時・災害時の歩行環境改善

取組

- ・ 取組2-1 街並み誘導型地区計画
- ・ 取組2-2 細街路拡幅整備事業
- ・ 取組2-3 歩行環境改善事業
- ・ 取組2-4 無電柱化
- ・ 取組2-5 防犯カメラの設置
- ・ 取組2-6 バリアフリー対策

主な効果

- ・ 歩行環境の安全性や景観の向上
- ・ 住環境の安心・安全性や快適性の向上



<目黒区自由が丘南口地区>

方針ごとの具体的な取組

取組 2－1 街並み誘導型地区計画

取組箇所：景観づくりゾーン

【課題】

- ・ 狭い道路沿いに燃えやすく老朽化した建築物が多い
- ・ 敷地規模が小さい



【取組】

- ・ 一定条件下で道路斜線を緩和し、限られた道路幅員での建替えの誘導や壁面後退により、道路状空地の創出と沿道の建築物の建替えを一体的に推進

【取組イメージ】

建替え推進と道路状空地の創出



＜目黒区自由が丘南口地区＞

取組 2－2 細街路拡幅整備事業

取組箇所：駅周辺地区全域

【課題】

- ・ 狭い道路が多い



【取組】

- ・ 幅員 4 m 未満の生活道路は、建替え等に合わせて最低限の道路幅員 4 m を確保

【取組イメージ】細街路の拡幅整備



＜板橋区細街路拡幅整備後の道路＞

方針ごとの具体的な取組

取組 2 - 3 歩行環境改善事業

【取組イメージ】 歩道の拡幅と修景

取組箇所： シンボルロード

【課題】

- ・ 川の手通り北側の歩道が狭い
- ・ 安全で快適な歩行空間が必要



【取組】

- ・ 快適な歩道空間の形成
- ・ シンボルロードとして南北水路の修景整備



＜目黒区自由が丘 九品仏川緑道＞

取組 2 - 4 無電柱化

【取組イメージ】 無電柱化

取組箇所： 駅周辺地区全域

【課題】

- ・ 安全で快適な歩行空間が必要



【取組】

- ・ 「東京都無電柱化計画」及び「葛飾区無電柱化推進計画」に基づき無電柱化を推進



＜飛騨市高山 歩道＞

方針ごとの具体的な取組

取組 2 - 5 防犯カメラの設置

取組箇所：駅周辺地区全域

【課題】

- ・夜はまちが暗く、人が来る雰囲気づくりが必要

【取組】

- ・安心して暮らせる環境づくりに向けて、まちなかに防犯カメラを設置

取組 2 - 6 バリアフリー対策

取組箇所：駅周辺地区全域

【課題】

- ・高齢者等が利用しやすい道路の改善

【取組】

- ・誰もが快適に利用・移動できるよう、道路の段差解消

【取組イメージ】歩道のバリアフリー化



<東京都道路のバリアフリー化事例>

出典：東京都建設局HP

方針ごとの具体的な取組

方針3 多様な主体の参加による賑わいと活力ある持続可能なまちづくり

持続可能なまちづくりに向けて、多様な主体との連携により地域課題の解決や魅力向上を図る仕組みや、公共空間の活用促進など、人々がまちづくりに参画し交流できる環境づくりを進め、互いに支え合うまちを目指す。

目標

- ・ 商店会や事業者等の多くの方々が参画し交流できる環境づくり
- ・ 地域の魅力向上・発信の仕組みづくり

取組

- ・ 取組3-1 住民主体のまちづくり推進体制の構築

主な効果

- ・ 堀切らしさ、地域アイデンティティの形成
- ・ まちづくりへの機運醸成、参画意識の向上
- ・ 持続可能なまちづくりの体制構築



<世田谷区三軒茶屋マーケットイベント>

出典：世田谷区HP

方針ごとの具体的な取組

取組3－1 住民主体のまちづくり推進体制の構築

取組箇所：堀切地区全域

【課題】

- ・ 様々な主体のまちづくりへの参画
- ・ 地域コミュニティの拡充



【取組】

- ・ 広場空間の創出など地域課題の解決となり、かつ誰でも気軽に参加できる仕組みづくりにより、地域課題を解決しつつ地域交流の推進や仲間づくりを推進

【取組イメージ】

社会実験による道路空間の活用

市民が気軽に参加できる花植イベント



<世田谷区茶沢通り社会実験>

出典：世田谷区HP



<茨木市広場活用社会実験>

出典：茨木市HP

その他の取組

取組箇所：堀切地区全域

○まちづくり活動の促進

- ・ 美化活動、防災訓練など、地域のつながりを育む活動の促進



＜北海道函館市 清掃美化活動＞

出典：函館市HP

○まちづくりの担い手育成

- ・ 有志によるまちづくりの体制づくり等による継続的な担い手の育成

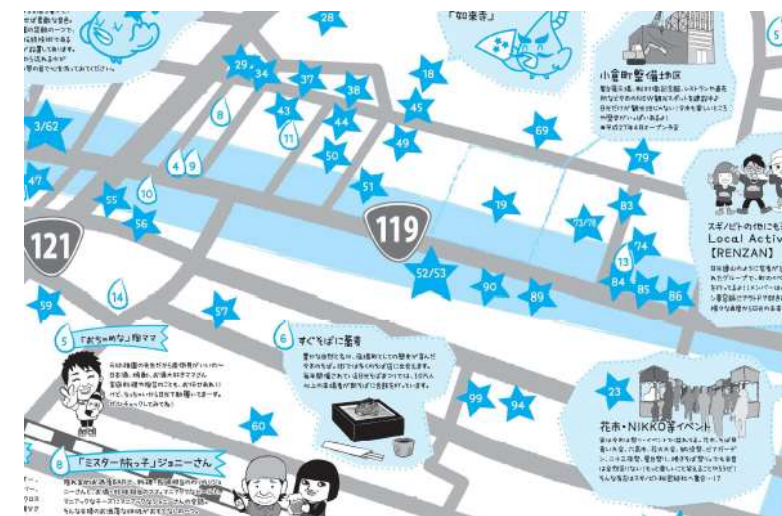


＜熊本県阿蘇市 商店会若手組織によるイベント＞

出典：中小企業庁HP

○地域の魅力向上・発信

- ・ 「ほりきりん」の活用など、地域の魅力を見える化する情報発信



＜栃木県宇都宮市 まちあるきマップ＞

出典：中心市街地活性化協議会支援センターHP

○バス・タクシー乗り場・用地の確保

取組箇所：駅周辺地区全域

- ・ 駅から利用しやすい場所でのバス・タクシー乗り場に活用できる用地の確保

取組のまとめ（取組箇所図）

方針1 ハード・ソフト両面からの防災まちづくり

燃えない・燃え広がらないまちに向けた建築物の建替えや安全な避難路の確保等とともに、防災活動の支援により災害時の消火や救助活動等の担い手確保につなげるなど、ハード・ソフト両面からの防災まちづくりを進める。

■具体的な取組： 取組1-1 ～ 取組1-4

取組1-1 防災街区整備地区計画

取組1-2 不燃化促進事業

■対象：駅周辺地区全域

- ・避難路の位置づけや建築物の防火規制、敷地面積の最低限度を規定
- ・建築物の耐震化・不燃化建替えや老朽建築物の除却への助成 等



取組2-3 歩行環境改善事業

取組1-3 共同建替え

■対象：賑わいゾーン

商業施設と連携した共同建替えにより、防災性の向上や賑わいの拠点づくり、広場空間の創出



■対象：駅周辺地区全域の取組

- 取組2-2 細街路拡幅整備事業
- 取組2-4 無電柱化
- 取組2-5 防犯カメラの設置
- 取組2-6 バリアフリー対策

その他の取組

- バス・タクシー乗り場・用地の確保

方針2 誰もが安全に歩いて楽しみ、快適に暮らせる環境づくり

建替えルールを活用した一体的な道路状空間の創出や歩行環境の改善により、駅から安全に楽しめる歩行ネットワークを確保するとともに、不燃化建替えに伴う建築物の省エネルギー化や細街路の拡幅により、快適に暮らせる環境づくりを進める。

■具体的な取組： 取組2-1 ～ 取組2-6

方針3 多様な主体の参加による賑わいと活力ある持続可能なまちづくり

持続可能なまちづくりに向けて、多様な主体との連携により地域課題の解決や魅力向上を図る仕組みや、公共空間の活用促進など、人々がまちづくりに参画し交流できる環境づくりを進め、互いに支え合うまちを目指す。

■具体的な取組： 取組3-1

取組2-1 街並み誘導型地区計画

■対象：景観づくりゾーン

一定条件下で道路斜線を緩和し、限られた道路幅員での建替えの誘導や壁面後退により、道路状空地の創出と沿道の建築物の建替えを一体的に推進



取組3-1 住民主体のまちづくり推進体制の構築

■対象：堀切地区全域

広場空間の創出など地域課題の解決となり、かつ誰でも気軽に参加できる仕組みづくりにより、地域課題を解決しつつ地域交流の推進や仲間づくりを推進



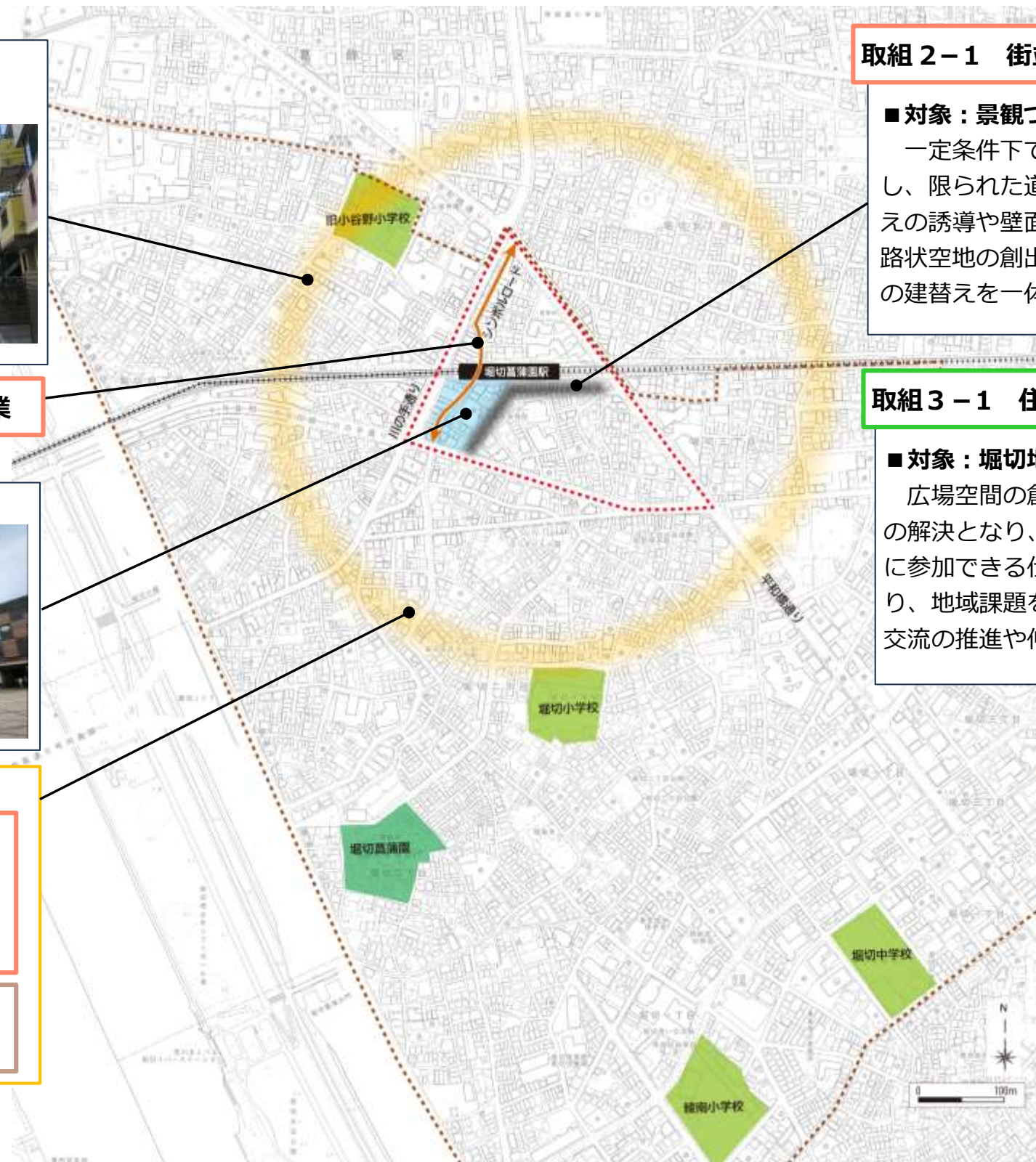
■対象：堀切地区全域の取組

取組1-4 防災意識の啓発活動

その他の取組

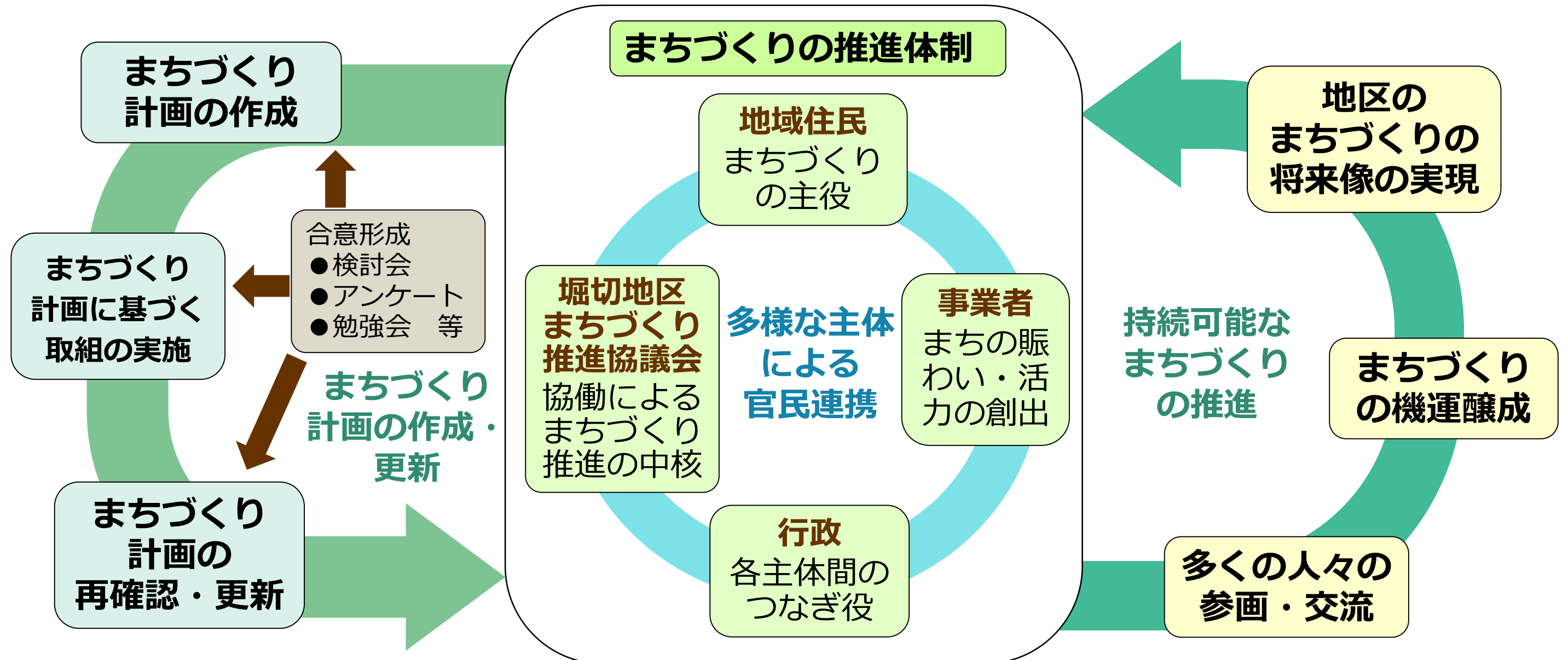
- まちづくり活動の促進
- 地域の魅力向上・発信
- まちづくりの担い手育成

- ：堀切地区
- ：堀切菖蒲園駅周辺地区



まちづくりの推進に向けて

堀切地区のまちづくりの将来像は「堀切を楽しみ、住み続けるまちづくり」を目指しています。そのためには、地域課題の解決や地域交流を重視した多様な主体が連携し、地域住民や事業者、行政等がそれぞれの役割や特性を生かしながら、まちづくりに取り組むことが求められます。また、まちづくり活動を通じてまちづくりの機運を高め、時代に応じた計画の再確認や更新を行うことで、持続的な発展を図ります。葛飾区では、地域に関わる多様な主体と連携し、将来像の実現に向けた具体的なまちづくりを推進していきます。



4 意見交換

テーマ:「まちづくり計画（たたき台）について」

- (1) 将来像・取組方針に入りたいキーワード
- (2) まちづくりに必要な取組、足りない視点等

5 今後の予定

- 第2回アンケート調査のご案内
- 第2回勉強会のご案内